シラバス参照

タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**（共通）**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT/SSCS1215		
科目名	自主創造の基礎１		
担当教員	清水　享		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木２		
講義室	1402	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	リテラシー		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 本科目は、DP1-A、DP1-B、DP2-C△、DP3-F、DP4-H、DP7-K、DP8-M に該当する科目です。 （△は，選択する授業内容によって修得が可能となります） ■日本大学教育憲章との関係性 本科目では、「日本大学教育憲章ルーブリック」における「豊かな知識・教養に基づく高い倫理観」「世界の現状を理解し、説明する力△」「論理的・批判的思考力」「問題発見・解決力」「挑戦力」「コミュニケーション力」「リーダーシップ・協働力」「省察力」の初年領域： Basic 1 を修得します。（△は、択する授業内容によって修得が可能となります） ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 A2：異文化適応(10%)、B1：自己啓発(30%)、C1：倫理的思考・社会認識(5%)、F1：探求と論拠(5%)、F2：課題解決(5%)、H1：論理的思考(5%)、H2：批判的思考(5%)、K1：ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(15%)、K2：ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(15%)、M1：省察力(5%) に該当する科目です。		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット能力開発の目標ステージとの対応 ２進行期～３発展期		
科目概要・キーワード	様々な動機・目的をもって入学した新入生に対し、学部・学科に関わらず、本学の学生として共通して身につけるべき学修姿勢や修得すべきスタディ・スキルを涵養することを目的とします。 スタートアップ（第１週）では、本科目の意味・意義や位置付けを概観した上で、日本大学教育憲章のあらましと本科目との関連性、「学習」から「学修」への転換を図る必要性をはじめ、＜日大生＞として必要な学修のスキルや姿勢について学びます。その後、第２週から第 14 週では以下の３点をターゲットとして定め、それぞれの単元が有機的に連携しながら体系的な学修を進めていきます。 ［TARGET１］日大生としてのアイデンティティ（第２週～第５週） さまざまな角度から日本大学、さらには所属する学部・学科を「知る」ことで、在学中の学びのイメージを描くことをねらいとします。 ［TARGET２］コミュニケーションとインクルージョン（第６週～第９週） ＩＣＴ環境を含む多様なコミュニケーションの在り方やエチケットを理解した上で、他者を尊重しながら積極的にグループワークに取組む姿勢を修得することをねらいとします。 ［TARGET３］論理的・批判的思考とアウトプット（第10週～第14週） 論理的かつ批判的に考えをまとめながらグループワークを行い、グループとして提示資料の作成や発表を行うことで、説得力をもって他者へ伝える力を修得することをねらいとします。		

	本科目のまとめとして，総括・振り返り（第15週）では、各TARGETの達成度を中心に省察を行い、あわせて後学期に向けた課題の設定を行います。各授業では，学生自身による自己評価と振り返りを行い、各授業時の到達度の確認を行います。その到達状況を当該授業内で集計し、本時のまとめとして受講者にフィードバックを行います。 授業形態は講義・演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：初年次教育、日本大学、コミュニケーション、情報倫理、インクルージョン、ディスカッション、学部間交流、論理的・批判的思考、プレゼンテーション
授業の趣旨	■副題 １ 学部・学科に関わらず、本学の学生として共通して身に付けるべき学修姿勢や修得すべきスタディ・スキルを身に付ける。 ２ 多様な存在を認め、それぞれの価値観を尊重しながら他者と関わり合うことで、自身の立ち位置を相対的に理解する。 ３ 自ら設定した課題について論理的かつ批判的に検討を行いながら、自身の考えを伝える力を身に付ける。 ■授業の目的 日本大学での学びを完成させるためにそのスキルを修得すること、また大学の成り立ちを知り、大学への帰属意識や社会貢献意識を養いながら、多様な価値観をもつ他者との触れ合いやグループワークを通じた協働により、コミュニケーション力の向上をはかること、さらに諸問題や課題を発見し、それに対する多面的な情報収集・分析を通して、解決していくことのできる基礎的能力を身に付けることを目的としています。 ■授業のポイント 日本大学の教育理念である「自主創造」の名称を有する本科目を学ぶということは、「日本大学マインド」を備えた人を目指すことと言えます。本授業ではスポーツ科学部生が修得すべきマインドや能力開発のために、レポート作成の方法、コミュニケーションの実践、プレゼンテーションの方法、日本大学の歴史、スポーツ科学における反省的実践などを学んでいきます。これら学ぶ領域や活動体験を生かし、自主創造３つの構成要素「１、自ら学ぶ」「２、自ら考える」「３、自ら道をひらく」ことが出来るようになります。
総合到達目標	本科目では、各TARGET学修目標を定めています。 ［TARGET１］日大生としてのアイデンティティ（第２週～第５週） ・日本大学についてさまざまな角度から概観することで、本学で学ぶ意味や意義について説明することができる。 ・所属学部・学科の特色を理解し、在学中の目標設定し、学びの意識を高めることができる。 ［TARGET２］コミュニケーションとインクルージョン（第６週～第９週） ・さまざまなコミュニケーションの在り方や特徴を説明することができる。 ・自身の考えを適切に伝達することができる。 ・他者の意見に傾聴することができる。 ・多様な存在や価値観を受容し、尊重しながら協働することができる。 ［TARGET３］論理的・批判的思考とアウトプット（第10週～第14週） ・グループまたは個人でテーマを設定することができる。 ・他者の意見を尊重しながら多角的かつ批判的に自身の考えを見直す伝えることができる。 ・ワークでの検討結果を論理的に構成し、他者へ説明することができる。 ・他者の成果物に対して自身の考えを示すことができる。
成績評価方法	各授業回の提出する「自己評価と振り返り」で提出する「振り返りシート」、課題の取組及び授業への参画状況を成績評価の対象とします。「振り返りシート」では、省察の態度・習慣を評価します。各授業回の配点は以下のとおりです。 ［スタートアップ］ 6点（第１週） ［TARGET１］ 24点（第２週、第３週、第４週、第５週：各６点） ［TARGET２］ 24点（第６週、第７週、各６点、第８・９週［２時限合算］：12点） ［TARGET３］ 36点（第10週、第11週、第12週、第13週、第14週：各６点） ＊プレゼンテーション(14週)に対する教員の総合評価（６点） ［総括・振り返り］ 10点（第15週） ■評価の観点：振り返りシート15回（90%）、教員の総合評価（10%） ■フィードバックの方法：最良な振り返りシートを提示して前回の授業趣旨を再確認します。最良なプレゼンテーションを提示して関連知識を整理します。
履修条件	履修条件はありません。
履修上の注意点	初回ガイダンスにて、授業の進め方や、欠席（欠席届）時の代替課題、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。授業を円滑に進めるために、それらをよく理解した上で履修してください。授業を欠席した場合は、ポータルLive Campusあるいは Google Classroomから授業資料をダウンロードして精読するとともに、授業ファイルに保

存・ファイリングして下さい。不明な点は担当教員に連絡し理解してから履修してください。

授業内容

回	内容
1	①授業テーマ　スタートアップ ②授業概要 ◆本科目の意味や意義、位置づけについて要点をとらえることができる。(C1) ◆大学生としての学びの在り方について理解し、説明することができる。(B1,H1,K2) ③事前学修（120分） ・学部要覧の履修方法や卒業要件に関するページを熟読します。 ・『ミライヲツクル～Learning Guide～』を熟読します。 ④事後学修（120分） ・大学生としての「学修」について理解を深めます。 ・「日本大学教育憲章」について理解を深めます。 ・履修中の科目（及び履修予定の科目）のシラバスを読み、各科目の目的や位置づけについて確認した上で、適切に履修登録が行われているかを確認します。
2	①授業テーマ　日本大学を知る① ②授業概要 ◆本学への入学動機について振り返ることができる。(B1) ◆本学の歴史や特色を理解し、説明することができる。(F1,K2) ③事前学修（60分） ・入学前に抱いていた本学のイメージや本学を受験した理由について整理します。 ・社会で活躍する 本学の卒業生について、所属する学部や学科にとらわれず、幅広く調べます。 ④事後学修（60分） ・授業内で視聴した動画や担当教員による追加説明から得られた新情報について整理し、インターネット等で関連する情報を収集します。
3	①授業テーマ　日本大学を知る② ②授業概要 ◆本学の総合大学としてのメリットを理解し、説明することができる。(C1,H1,K2) ◆在学中の大きな目標を設定することができる。(B1) ③事前学修（60分） ・指定された事前学修動画から１つを選択し、視聴します。 ・視聴した動画について、自身の考えをまとめます。 ④事後学修（60分） ・選択しなかった事前学修動画を視聴し、あらためて本学の総合大学としてのスケールメリットについて考えます。 ・本時に作成した「在学中の目標設定」を達成するための具体的な方法を考えます。
4	①授業テーマ　スポーツ科学部を知る（スポーツ科学部を知る①） ②授業概要 ◆所属学部の特徴を理解し、説明することができる。(B1,K1) ◆所属学部の施設・設備とその利用方法を理解することができる。(B1) ③事前学修（120分） ・所属学部・学科にはどのような施設・設備があるかについて、インターネット等で情報を収集します。 ・フィールドワークを行う施設・設備について下調べを行い、円滑に見学や利用が行えるよう準備します。 ・所属学部の周辺地域について、情報を収集します。 ④事後学修（120分） ・選択しなかった事前学修動画を視聴し、あらためて本学の総合大学としてのスケールメリットについて考えます。 ・本時に作成した「在学中の目標設定」を達成するための具体的な方法を考えます。
5	①授業テーマ　競技スポーツ学科を知る（スポーツ科学部を知る②） ②授業概要 ◆所属学科の特徴を理解し、説明することができる。(B1,K1) ◆卒業後のキャリアをイメージし、段階的な目標を設定することができる。(B1,C1) ③事前学修（120分） ・入学前に所属する学科（学部）や学系を進路として選択した理由を整理します。 ・所属学科（学部）のこれまでの卒業生の進路について下調べを行います。 ・自身の卒業後のキャリアについてイメージします。 ④事後学修（120分） ・所属学科（学部）の卒業後のキャリアについて、あらためてインターネットや冊子等で情報を収集し、さらに理解を深めます。

		・特に、自身の興味・関心のある業種・業界について掘り下げ、より具体的な目標を定めます。
	6	①授業テーマ　コミュニケーション・スキルの錬成① ②授業概要 ◆大学生に求められるネチケットを理解し、説明することができる。(C1) ◆自身の考えを他者に伝えることができる。(M1,K2) ◆他者を尊重し、傾聴することができる。(H1,H2) ③事前学修（120分） ・ネチケットについて下調べを行います。 ・SNSに起因するトラブルを調べ、自身の考えや解決策について考えます。 ・第１週の授業動画「ディスカッションの方法」をあらためて視聴し、グループワークに備えます。 ④事後学修（120分） ・所属学科（学部）の卒業後のキャリアについて、あらためてインターネットや冊子等で情報を収集し、さらに理解を深めます。 ・特に、自身の興味・関心のある業種・業界について掘り下げ、より具体的な目標を定めます。
	7	①授業テーマ　コミュニケーション・スキルの錬成② ②授業概要 ◆KJ 法による協働ワークを通して、複数の学生の考えを集約することができる。(K1,C1) ◆グループでの議論を通して、自身の考えを深めることができる。(F2,M1) ③事前学修（120分） ・所属する学部・学科に関する情報を多角的に収集します。 ・第１週の授業動画「オンラインツールの使用方法」をあらためて視聴し、円滑に使用できるようにします。 ④事後学修（120分） ・授業内で決めた５つのキーワードについて、あらためてインターネット等で情報を収集し、所属学部・学科以外の学生に説明できるようにします。 ・議論にあたって用いた手法やツールについて理解を深め、今後のディスカッションで活用できるようにします。
	8	①授業テーマ　ワールド・カフェ（N-MIX） ②授業概要 ◆学部を越えた交流を通して、本学のスケールメリットをあらためて認識することができる。(A2,B1) ◆複数の学部や学系が共存するグループで、多様な考えを認めながら協働ワークを行うことができる。(F1,K2) ◆協働ワークの成果をまとめ、伝えることができる。(H1,K2) ③事前学修（120分） ・ワールド・カフェの趣旨を理解し、協働ワークに資するオンラインツールを円滑に使用できるようにします。 ・自身の所属以外で本学にどのような学部・学科があるかについて、あらためて確認します（第２週で既修）。 ・協働ワークを前提に、第６週及び第７週の既修事項について、あらためて確認を行います。 ④事後学修（120分） ・ワールド・カフェを通じて得られた経験から、今後の協働ワークの進め方について考えをまとめます。
	9	①授業テーマ　ワールド・カフェ（N-MIX） ②授業概要 ◆学部を越えた交流を通して、本学のスケールメリットをあらためて認識することができる。(A2,B1) ◆複数の学部や学系が共存するグループで、多様な考えを認めながら協働ワークを行うことができる。(F1,K2) ◆協働ワークの成果をまとめ、伝えることができる。(H1,K2) ③事前学修（120分） ・ワールド・カフェの趣旨を理解し、協働ワークに資するオンラインツールを円滑に使用できるようにします。 ・自身の所属以外で本学にどのような学部・学科があるかについて、あらためて確認します（第２週で既修）。 ・協働ワークを前提に、第６週及び第７週の既修事項について、あらためて確認を行います。 ④事後学修（120分）

		・ワールド・カフェを通じて得られた経験から、今後の協働ワークの進め方について考えをまとめます。
	10	①授業テーマ　論理的・批判的思考の錬成① ②授業概要 ◆プレゼンテーションの目的や手法について理解し、説明することができる。(C1,H1,K2) ◆プレゼンテーションの構成や作成のステップについて理解し、説明することができる。(K1,K2) ◆グループでの議論を通して、テーマを決定することができる。(C1,F2) ③事前学修（120分） ・ワールド・カフェでの学びの経験や感想について、他者に伝えられるよう整理します。 ・プレゼンテーションの方法について、下調べを行います。 ④事後学修（180分） ・プレゼンテーションの作成手順について確認します。 ・グループで決定したテーマについて、取り上げたい具体的な内容を考えるとともに、関連事項について調べます。
	11	①授業テーマ　論理的・批判的思考の錬成② ②授業概要 ◆資料や先行研究を調べ、得られた情報を整理することができる。(F1,H1) ◆正しい引用の方法について理解し、説明することができる。(K1,K2) ◆グループでの議論を通して、章立てを行うことができる。(C1,F1) ③事前学修（120分） ・第１週の授業動画「盗用・剽窃への注意」をあらためて視聴し、理解を深めます。 ・前時の事後学修で調べた内容について、他者に説明できるよう整理します。 ④事後学修（120分） ・他者の意見を引用する際の作法について、あらためて確認します。 ・議論にあたって不足している情報について、オンライン検索システム等を利用して適切に収集し、整理します。
	12	①授業テーマ　検討結果のアウトプット① ②授業概要 ◆聴き手に「見やすい」提示資料の技巧について理解し、説明することができる。(C1,F1,H1) ◆章立てに従って、提示資料を作成することができる。(K1,M1) ③事前学修（120分） ・前時の事後学修で調べた内容について、他者に説明できるよう整理します。 ・プレゼンテーションの提示資料をより見やすくするための工夫について、下調べを行います。 ④事後学修（300分） ・作成した提示資料を客観的に見直し、不足している情報を追加します。 ・提示資料のフォーマットについて、問題点や改善点がないか確認を行います。
	13	①授業テーマ　検討結果のアウトプット② ②授業概要 ◆聴き手に「分かりやすい」発表の技術について理解し、説明することができる。(F2,K2) ◆模擬発表の実践を通して、提示資料や発表方法について改善を行うことができる。(F2,H2) ③事前学修（120分） ・前時の事後学修で追加作成した新たな項目を含め、グループ全員の提示資料を統合します。 ・発表者の割り当てに従って、模擬発表に向けた準備を行います。 ・聴き手がより理解しやすい発表を行うための工夫について、下調べを行います。 ④事後学修（120分） ・プレゼンターの技術について理解を深めながら、発表練習を行います。 ・作成した提示資料を客観的に見直し、情報の追加や削除、修正を行います。 ・自グループのプレゼンテーション全体について、「見やすさ」「わかりやすさ」の観点から再検証し、適宜修正や調整を行います。
	14	①授業テーマ　検討結果のアウトプット③ ②授業概要 ◆グループによるプレゼンテーションを行うことができる。(K2) ◆他グループのプレゼンテーションを評価することができる。(H2,M1) ◆他グループとの比較を通して、自グループの改善点を見出すことができる。(F2,H2,M1)

		③事前学修（120分） ・前時の事後学修で追加や削除、修正を行った項を含め、グループ全員の提示資料を統合し、確認を行います。 ・前時の事後学修で行ったプレゼンテーション全体の修正や調整をグループ全員で確認し、発表練習を行います。 ④事後学修（120分） ・他グループの発表に関する評価や担当教員の講評を参照しながら、自グループの具体的な改善点についてあらためて考えます。
	15	①授業テーマ　総括・振り返り ②授業概要 ◆本科目における自身の学びを客観的に振り返り、各到達目標についての自己評価を行うことができる。(F2,H2,M1) ◆本科目における達成状況を参照しながら、後学期に向けた具体的な目標を設定することができる。(B1,C1) ③事前学修（120分） ・各TARGETや各授業回における学修内容、ワークへの取組みを含めた自身の学修態度等について、振り返りを行います。 ・「日本大学教育憲章」に示される８つのスキルや各授業回の到達目標について、自身の達成度を評価できるよう準備を行います。 ④事後学修（60分） ・本科目全体での学びや学修成果についてあらためて確認します。 ・本時に定めた「後学期の目標」を達成するための具体的な方法を考えます。

関連科目	特にありません。
教科書	特にありません。
参考書・参考ＵＲＬ	『ミライヲツクル～Learning Guide～』（その他の参考図書については，授業内で適宜言及します）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に通知します。 ■オフィスアワー 開講時に通知します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.